

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和3年5月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 乳幼児に多い「RSウイルス感染症」が季節外れの4月に増加しています！！

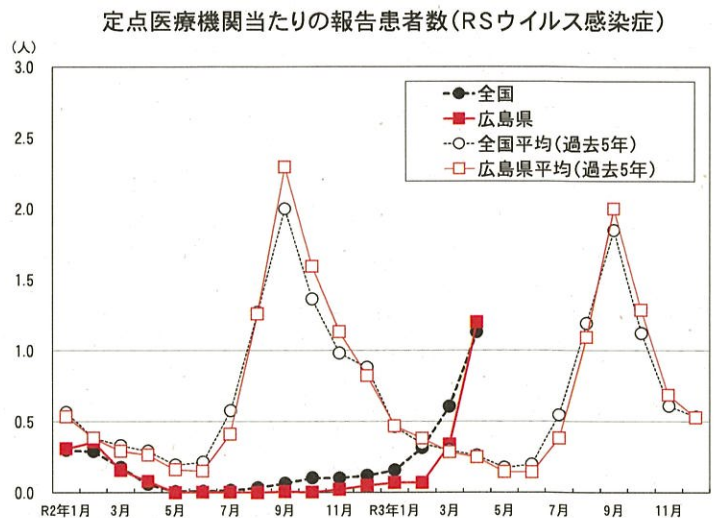
例年は9月頃に増えることが多いRSウイルス感染症の患者が、今年は4月に急増（県内の4月の定点医療機関当たりの報告患者数は1.20で、過去5年平均（0.25）の約5倍増加）しています。

RSウイルス感染症は、乳幼児が感染することが多く、発熱や咳、鼻水などの症状が発現し、重症化すると気管支炎や肺炎になる危険性もあります。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大で乳幼児の集団生活の機会が減るなど、RSウイルス感染症の報告も激減しましたが、今年は4月に入って、全国的に患者数が増加しています。

RSウイルス感染症の感染経路は、飛沫感染と接触感染です。

マスクを着用しづらい乳児は、人混みを避けるとともに、日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめに消毒し、手洗いの励行に努めましょう。



(2) 6月1日（火）から6月7日（月）は「HIV検査普及週間」です！！

県内の令和2年の新規エイズ患者数は7人、新規HIV感染者数は5人でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う検査機会の減少などの影響で、検査件数などが減少しており、無症状感染者が十分に把握できていない可能性に留意する必要があります。

HIVに感染しても自覚症状のない時期が数年間続くため、その間に感染を発見し治療することで、エイズ発症を予防したり、遅らせることが可能です。

保健所検査や日曜検査、クリニック検査など、利便性の高い場所や時間帯に配慮した検査体制を構築しており、広島県のホームページから日程等が確認できます（「HIV検査普及週間」に合わせた検査時間の延長や、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う検査休止の場合があります）ので、検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検ください。

エイズ患者・HIV感染者報告数(広島県)

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
新規エイズ患者数(人)	2	7	11	2	7
新規HIV感染者数(人)	15	7	8	13	5



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 3年 4月分(令和 3年 4月 5日～令和 3年 5月 2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	2	0.00	1.42		10	ヘルパンギーナ	4	0.01	0.07	
2	RSウイルス感染症	345	1.20	0.25	↑	11	流行性耳下腺炎	15	0.05	0.28	↑
3	咽頭結膜熱	65	0.23	0.48	↗	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	142	0.49	1.75	→	13	流行性角結膜炎	32	0.42	0.71	↗
5	感染性胃腸炎	2,173	7.55	5.89	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
6	水痘	27	0.09	0.24	↘	15	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
7	手足口病	3	0.01	0.32	↓	16	マイコプラズマ肺炎	2	0.02	0.09	
8	伝染性紅斑	7	0.02	0.21		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	97	0.34	0.38	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.61	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 3年 4月分(4月1日～4月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	80	3.48	2.28	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	70	3.33	3.30	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.98	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.47	
21	尖圭コンジローマ	19	0.83	0.63	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02	
22	淋菌感染症	41	1.78	0.60	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 RSウイルス感染症 (0.34 → 1.20)
- 急増疾患 流行性耳下腺炎 (0.02 → 0.05)
- 急減疾患 手足口病 (0.05 → 0.01)

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	26	結核(26)〔西部保健所(4),西部東保健所(1),東部保健所(4),広島市保健所(15),呉市保健所(1),福山市保健所(2)〕
三類	1	腸管出血性大腸菌(1)〔西部東保健所(1)〕
四類	12	E型肝炎(2)〔広島市保健所(2)〕
		つつが虫病(1)〔広島市保健所(1)〕
		レジオネラ症(2)〔東部保健所(1),広島市保健所(1)〕
		重症熱性血小板減少症(1)〔西部保健所(1)〕
五類	22	日本紅斑熱(6)〔東部保健所(1),広島市保健所(1),呉市保健所(3),福山市保健所(1)〕
		ウイルス性肝炎(1)〔福山市保健所(1)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症(1)〔西部保健所(1)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(3)〔広島市保健所(3)〕
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕
		梅毒(13)〔広島市保健所(5),福山市保健所(7),北部保健所(1)〕
百日咳(1)〔西部東保健所(1)〕		
新型インフルエンザ等感染症	898	新型コロナウイルス感染症(898)〔西部保健所(102),西部東保健所(30),東部保健所(62),北部保健所(3),広島市保健所(541),呉市保健所(14),福山市保健所(146)〕